

令和5年4月19日以降の豊島区における AIオンデマンド交通(mobi)の実証運行について

令和5年3月2日(木)
豊島区都市整備部都市計画課



実証運行の実施について



現在実施中の実証実験において、区民からの期待も寄せられており、区としては、これまで行われていたCM社が主体となり実施してきたmobiの実証実験をベースとしつつ、見えてきた課題に対する改善を行いながら、交通不便地域の交通環境改善の担い手になり得るか否かという観点において、下記の考え方に基づき実施する。

1.新しい移動ニーズへ対応していること

- ① 交通不便地域への新たな移動手段を提供
- ② 交通弱者の移動促進

2.公共交通として継続性があること

- ① 将来に渡り事業の継続が見込めること
- ② 公費負担なく継続が見込めること

3.既存の公共交通との共存が可能なこと



実証運行の進め方



【実施形態】

- 実施主体: 豊島区(都市整備部 都市計画課)
- 参加事業者: Community Mobility株式会社
- 旅客運送事業者: 株式会社エコリムジン東京
 - 同社のシステムにより実運行を行う運行事業者

【実証運行の概要】

- これまでの実証実験をベースとしつつ改善を行いながら実施
 - 利用者調査は引続き行い、地域のニーズを把握するための調査を追加
 - 運賃の見直し、車両設備の改善、周知の強化、利便性向上等の検討も行いながら進める
- 判断基準となる指数を設定し評価を行う
 - 豊島区としてのオンデマンド交通の導入の考え方にに基づき設定
 - 実験内容や評価基準は勉強会で検討し、公共交通会議で説明・報告
 - ✓ 会員数、運行効率、収支率、満足度を予定



スケジュール



21条
申請

実証運行: 令和5年4月19日～令和6年8月31日

実証運行の検証期間は1年間とするが、成果のまとめや実証運行以降の本事業の申請や利用者周知に要する期間を考慮し**令和6年8月31日まで**とする。

【令和6年6月頃に開催する地域公共交通会議で下記の結論を出す】

①終了後に4条運行 ②実証運行期間の延伸 ③豊島区での事業終了

21条申請: 株式会社エコリムジン東京

実験内容や数値指標の確定

21条認可・実証実験開始

中間報告 地域公共交通会議や勉強会で報告し検証を進める

検証期間(1年間)終了 地域公共交通会議で最終評価
認可期間以降の運行について決定